

特別会計

一般会計と区分して、特別な事業を行う場合などに設けることができる会計です。町では3つの特別会計と公営企業（水道事業、下水道事業）会計を設置しています。

会計名		歳入	歳出	差引額
特別会計	国民健康保険	23 億 8,702 万円	22 億 8,479 万円	1 億 223 万円
	介護保険	20 億 3,095 万円	19 億 5,459 万円	7,636 万円
	後期高齢者医療	3 億 4,859 万円	3 億 4,640 万円	219 万円
企業会計 (水道事業)	収益的収支	4 億 3,558 万円	4 億 3,606 万円	▲ 48 万円
	資本的収支	1 億 208 万円	2 億 5,594 万円	▲ 1 億 5,386 万円
企業会計 (下水道事業)	収益的収支	4 億 9,157 万円	4 億 9,624 万円	▲ 467 万円
	資本的収支	8,910 万円	2 億 3,037 万円	▲ 1 億 4,127 万円



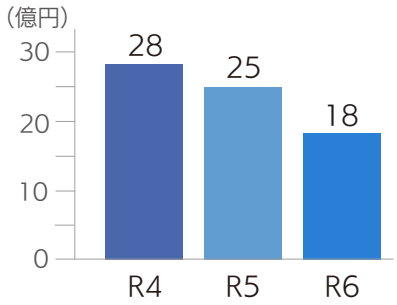
※企業会計の不足額は内部留保資金などで補てんしました。

基金

基金は、町の貯金にあたります。特定の目的での財産維持や、資金の積み立て運用を行います。町では8つの基金を設けています。

区分	基金残高
財政調整基金	6 億 4,012 万円
公共施設整備基金	6 億 4,615 万円
災害救助基金	2 億円
育英資金貸付基金	2,000 万円
福祉資金貸付基金	400 万円
土地開発基金	7,074 万円
国民健康保険特別会計 財政調整基金	1 億 9,815 万円
介護保険給付費準備基金	1 億 9 万円
合計	18 億 7,925 万円

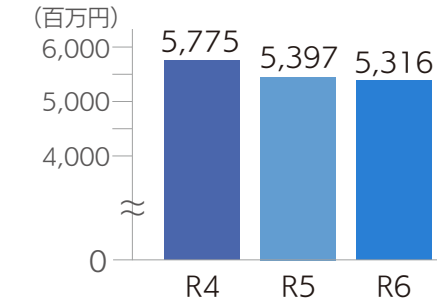
基金残高の推移



町債

町債は、町の借金にあたります。施設の建築や大規模な改修に必要なお金を、世代間で公平に負担するためのものです。

町債残高の推移



令和6年度
決算報告

令和6年度の決算が、9月議会で認定されましたのでお知らせします。皆さんが納めた税金や国・県からの補助金は、道路などの生活基盤の整備や福祉の充実など、魅力あるまちづくりのために使われています。

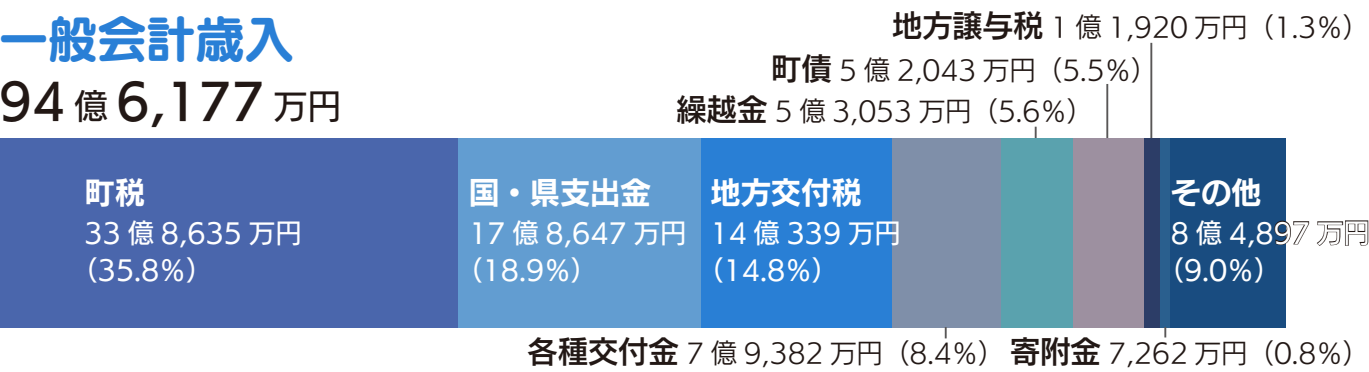


詳しくは町ホームページをご覧ください。

※記載している金額などは端数処理をしているため、合計・差引額が合わないことがあります。

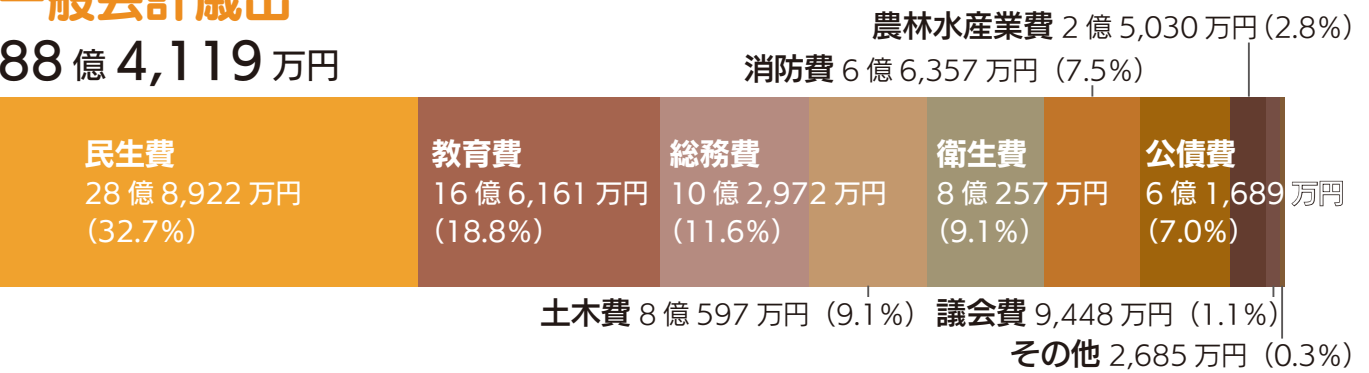
一般会計歳入

94 億 6,177 万円



一般会計歳出

88 億 4,119 万円



歳入は、各種交付金や借金である町債の増加などにより、令和5年度と比べて約10億円増えました。

歳出は、民生費や教育費の増加に伴い、約9億1,000万円増えました。歳出のうち、最も多くの割合を占める民生費は、子育て支援を含む福祉サービスなどに関する経費です。少子高齢化の影響で福祉関連などの支出の増加が見込まれます。

令和6年度に実施した主な事業

小中一貫教育推進事業



小中一貫教育校の開校に向けて、木のぬくもりを感じるやさしい教育空間を目指した、小学校低学年棟の建設を行いました。

空き家対策推進事業



物件ごとに異なる課題を抱える空き家に対応するため、相談体制や補助制度を整え、長年放置されていた空き家の解消を行いました。

町民1人あたりのお金の使われ方

※令和7年4月1日時点の人口(18,613人)で計算。

費目名	内容	金額	5年度からの増額
民生費	障がい者・高齢者の福祉、子育て支援など	155,226 円	14,864 円
教育費	学校教育、生涯学習など	89,272 円	29,573 円
総務費	一般事務、税の徴収事務など	55,323 円	581 円



町の財政状況は良好？

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率と資金不足比率があります。川島町は、国が示すこの指標を下回るため、町の財政状況は**健全**です。

財政健全化判断比率

財政健全化指標は、町の財政状況を判断するためのものです。

川島町は、すべての指標で早期健全化基準を下回っており、財政は健全な状態といえます。しかし、将来を見据え、限られた財源を無駄なく、効果的に使っていく必要があります。

指標	内容	川島町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計などの赤字の割合	赤字なし	14.69%
連結実質赤字比率	すべての会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	19.69%
実質公債費比率	町の年収に対する、借入金の返済額などの負担の割合	4.8%	25.0%
将来負担比率	借入金残高などから、将来財政を圧迫する可能性	20.8%	350.0%

資金不足比率
(公営企業会計)

資金不足比率は、公営企業の事業規模（料金収入など）に対する資金不足額（赤字額に相当するもの）の大きさを示します。

川島町の公営企業において、**資金不足は生じませんでした。**

区分	川島町	経営健全化基準
水道事業会計	— (不足なし)	20.0%
下水道事業会計	— (不足なし)	20.0%